

第1号議案 2019年度 特定非営利活動にかかわる活動報告

(1) シンポジウムの開催

①2019年6月16日(日)総会記念シンポジウム「医療的ケアにおける看護師のあり方を考える」

学校看護師問題を中心に福祉事業所における看護師の役割、身分保障などの今後の展望を拓くべくシンポジウムを開催した。

神戸市総合療育センター長の高田哲氏をコーディネーターに、基調講演「看護師の立場から看護教育について」兵庫県立大学看護学部教授の勝田仁美先生、指定報告①「当事者・家族、事業者の立場から看護師に望むこと」NPO法人ヘルパーGOGO理事長の武政千尋さん、②「医療的ケアにおける看護師のあり方を考える——教育の立場から」当法人の北川末幾子理事、③「看護師の医療的ケア実施への医師指示書について」当法人の三浦清邦理事の報告の後、質疑応答と討論を行った。学校看護師問題の関心が高く、定員を超える申し込みがあり、その記録冊子を作成し、全会員に送付した。

② 2019年1月12日(日)シンポジウム「今こそ、PA パーソナルアシスタンス制度を！」

医療的ケアが必要な方の地域生活を支えていくためには、パーソナルアシスタンスを制度化していくことが不可欠と考えている。その実現に向けて、現状を整理し、どういう方向で今後進めていくのかを討論した。

『パーソナルアシスタンス』の編著書を出されている早稲田大学の岡部耕典教授を迎え、講演①「パーソナルアシスタンス制度化への課題と展望」、講演②「医療的ケアが必要な方の地域生活とパーソナルアシスタンス制度」(当法人理事・田村和宏立命館大学教授)の後、指定発言①「就労時のヘルパー利用について」愛隣デイサービスセンターのライスチョウノアさん、指定発言②「ダイレクトペアメント」日本自立生活センター代表の矢吹文敏さんのお話を聞いた。最後にお二人の講師と杉本理事長の鼎談、討論を行った。

パーソナルアシスタンス制度の考え方の普及と制度の裏づけ、重度訪問介護の弱点や利用上の問題点など今後も検討、議論すべき課題が明らかになった。詳細はいま作成中の記録冊子を全会員に送付するので見られたい。

(2) 情報提供・発信、相談、意見交流

シンポジウム会場での情報提供(会員提供、書籍資料展示等を含む)。ホームページ、会員メーリング

リットを通じて、さまざまな情報発信、医療的ケアに関する相談、意見交流を行った。

